

発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町 10 番 1
北九州エコタウン実証研究エリア内

ハチドリ通心(信)

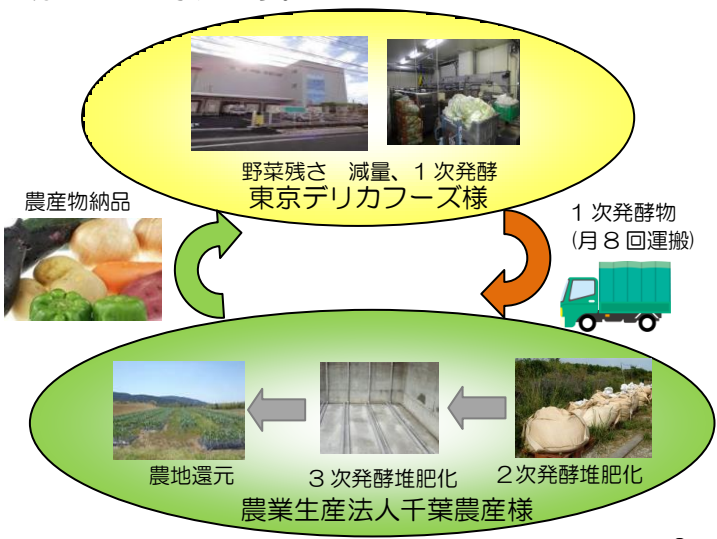
Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

2014 年 11 月号 E-mail ceres@fun-c.jp http://www.fun-c.jp

東京デリカフーズ様 新たな堆肥化施設で、地域に貢献



東京デリカフーズ（東京都足立区）様の野菜残さを堆肥にする新たなリサイクル拠点が千葉県君津市（千葉農産内）に開設しました。これまで堆肥化リサイクルを行っておられましたが、今回の堆肥場を提供する千葉農産と連携し、農産物を仕入れることで、より地域農業に貢献できるリサイクルが実現しました。今後は、出来た循環野菜の食味分析、機能性分析等を行い、より高付加価値な野菜の生産を行っていく予定です。

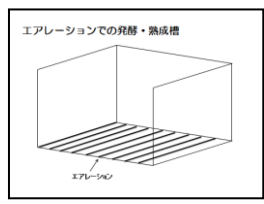


★安価で効率的な食品残さ堆肥化施設

東京デリカフーズ様から発生する野菜残さ年間 4,635 t が 300 t の有機堆肥になります。

【年間】野菜残渣	4,635 t	東京デリカフーズ様 工場内
破碎脱水	2,007 t	
1 次発酵処理	460 t	
2 次 3 次発酵堆肥化	300 t	堆肥化施設

明星大学の吉沢教授が考案された技術を活用した発酵施設（特許申請済）。従来の簡易堆肥化装置で 2 次発酵させたのち、この施設で 3 次発酵させることで、より効率的に短期間で堆肥を作ることができるようになりました。



3 次発酵堆肥化施設

★米国クリーンテックス社の CEO が来社 油化装置を見学されました

アメリカのマット業界のクリーンテックス社 CEO Mr. Bruce Howard が 10 月 25 日に当社の油化装置を見学されました。見学後は装置や取り組み等を興味深くお聞きになり、当社の本格循環芋焼酎「明月五良」も飲んで頂きました。



左から 当社松尾、米国クリーン・テックス社 CEO、Mr. Bruce Howard、クリーンテックス・ジャパン株式会社 福原会長、大山社長

堆肥場の提供、循環野菜の生産を担う ハチドリ 農業生産法人千葉農産様



白石真一社長

房総半島の温暖で豊かな自然の恵みを生かし有機物循環型農業で安心・安全な農産物の提供を心がけると共に農業雇用創出、障害者・高齢者雇用にも力を入られています。



千葉県君津市の大鷲里山ファームビレッジにおいて、40 年間放置された里山の再生活動にも取り組まれています。今では田植え体験や開墾、間伐体験、菜の花フェスタなどのイベントを開催されたり、発達障害などの生徒たちを受け入れ、合宿やお祭りなども開催されています。



大鷲まつり



また、地元だけではなく、宮城県や福島県の震災地においても、農地の復興事業に取り組んでおられます。

(左の写真) 宮城県気仙沼の復興事業

スタッフ紹介

★楽しい(株)のテクニカルリーダー



太田 哲リーダー

当社の技術部門の責任者の太田哲テクニカルリーダーです。生ゴミ処理機の改良・修理・メンテナンスや、油化装置の改良・オペレーションを主に担当しております。新婚ほやほやで、公私共にごんばっています。今後メンテナンス等でお伺いすることもありますので、よろしくお願い致します。

★(株)メリーズ・ジャパンのニューフェイス



吉野 広道
主任研究員

今年の 4 月から、楽しい(株)のグループ会社(株)メリーズ・ジャパンに新たな仲間が増えました。吉野広道主任研究員です。千葉県野田市の出身。柔道で鍛えた心と体で、体当たりで業務に励んでいます。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(竹村が担当しました。)